

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
研究データポリシー

制定 2021年 3月 10日

改正 2022年 2月 22日

1. 目的

このデータポリシーは、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所（以下、「うみそら研」という。）が、研究活動において取得・作成した研究データの取扱いについて、基本的な方針を述べたものである。

うみそら研は、運輸産業の国際競争力の強化や海洋および航空の利用推進等を技術面から支えるため、うみそら研が保有する実験施設と高度な技術力、豊富な知見を効率的かつ効果的に活用し、国立研究開発法人として研究開発成果の最大化を図り、その成果を社会に還元させるとともに、我が国の技術・システムの国際的な普及の貢献に努めている。

これらの研究活動を通じて得られる研究データは、極めて重要かつ価値の高い財産であり、適切に管理・保存・公開することで、研究・教育・産業界などに活用されることを目指す。

2. 研究データの管理・保存・セキュリティ

ア) 管理

うみそら研は、研究データを適切に管理する。また、研究データの正確性や取得・作成に関わるトレーサビリティなど、品質の確保に努める。

イ) 保存

うみそら研は、研究活動における不正行為の防止並びに公的研究費等の執行及び管理に関する規定に基づき、研究データを適切に保存並びに廃棄する。

ウ) セキュリティ

うみそら研は、研究データの不正利用、改ざん等が発生しないよう適切な措置を講ずるとともに、常に情報セキュリティ体制の維持・改善に努める。

3. 管理・保存する研究データの範囲

うみそら研が研究活動を通じて観測・実験・シミュレーション等により取得・作成した研究データを管理・保存の対象とする。

4. 公開した研究データの利用条件

管理・保存するデータのうち、運輸産業の国際競争力の強化や、海洋および航空の利用推進等の観点から利活用されることが望ましい研究データを公開対象とする。ただし、個人及び法人の権利利益の保護、公共の安全等の観点から公開することが適切でないと判断される研究データについては公開の対象外とする。

5. 公開する研究データの利用条件

うみそら研の公開する研究データは、別途条件を定めた場合を除き、全部または一部を無断で転載することや、二次配布を行うことを認めない。うみそら研の公開する研究データを利用した論文や報告書等には、うみそら研が取得・作成した研究データを利用した旨を明記することを求める。

6. 研究データの帰属

うみそら研が公開する研究データの権利は、うみそら研に帰属する。

7. 各研究所の詳細規定

管理・保存や公開する研究データの範囲や公開する研究データの利用条件については、必要に応じて、うみそら研の各研究所でより詳細に規定する。

8. 免責事項

うみそら研は、公開する研究データの利用に起因して生じたいかなる損害について、一切の責任を負わない。

(以上)